

## 指定管理業務評価結果書

### 1. 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	鶴山公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97番地の1 名称 公益社団法人津山市観光協会 代表者 代表理事 松岡裕司
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 都市基盤整備課 公園係
(4) 指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日
(4) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

### 2. 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数240,136人（前年度入園者数91,971人） 備中櫓入館者数 70,743人
(2) 事業の内容	・津山さくらまつり(令和4年3月26日～令和4年4月10日) 106,998人 ・牛うまつ王選手権 ・花火の観覧席 ・津山城もみじまつり(当地グルメ) ・津山城初日の出イベント 507名

### 3. 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総額</td> <td style="text-align: right;">74,243千円(前年度 54,621千円)</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td style="text-align: right;">50,644千円(21,170千円)</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td style="text-align: right;">19,400千円(31,030千円)</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td style="text-align: right;">1,699千円( 789千円)</td> </tr> <tr> <td>補助金収入</td> <td style="text-align: right;">2,000千円( 1,500千円)</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td style="text-align: right;">500千円( 132千円)</td> </tr> </table>	総額	74,243千円(前年度 54,621千円)	利用料金収入	50,644千円(21,170千円)	指定管理料	19,400千円(31,030千円)	事業収入	1,699千円( 789千円)	補助金収入	2,000千円( 1,500千円)	雑収入	500千円( 132千円)						
総額	74,243千円(前年度 54,621千円)																		
利用料金収入	50,644千円(21,170千円)																		
指定管理料	19,400千円(31,030千円)																		
事業収入	1,699千円( 789千円)																		
補助金収入	2,000千円( 1,500千円)																		
雑収入	500千円( 132千円)																		
(1) 支出 (指定管理者の支出)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総額</td> <td style="text-align: right;">58,064千円(前年度54,621千円)</td> </tr> <tr> <td>主な支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">32,802千円(32,968千円)</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">2,869千円( 2,079千円)</td> </tr> <tr> <td>修繕・消耗品費等</td> <td style="text-align: right;">5,805千円( 6,617千円)</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">752千円( 113千円)</td> </tr> <tr> <td>委託料(施設管理)</td> <td style="text-align: right;">5,602千円( 4,570千円)</td> </tr> <tr> <td>負担金・公租公課</td> <td style="text-align: right;">5,395千円( 4,768千円)</td> </tr> <tr> <td>事業費・誘客促進費</td> <td style="text-align: right;">4,839千円( 3,506千円)</td> </tr> </table>	総額	58,064千円(前年度54,621千円)	主な支出		人件費	32,802千円(32,968千円)	光熱水費	2,869千円( 2,079千円)	修繕・消耗品費等	5,805千円( 6,617千円)	備品購入費	752千円( 113千円)	委託料(施設管理)	5,602千円( 4,570千円)	負担金・公租公課	5,395千円( 4,768千円)	事業費・誘客促進費	4,839千円( 3,506千円)
総額	58,064千円(前年度54,621千円)																		
主な支出																			
人件費	32,802千円(32,968千円)																		
光熱水費	2,869千円( 2,079千円)																		
修繕・消耗品費等	5,805千円( 6,617千円)																		
備品購入費	752千円( 113千円)																		
委託料(施設管理)	5,602千円( 4,570千円)																		
負担金・公租公課	5,395千円( 4,768千円)																		
事業費・誘客促進費	4,839千円( 3,506千円)																		

### 4. 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	<p>・5月に対面による津山市観光客動態調査を実施し、満足度、再訪意向は高い数値を示し、観光地としての魅力、従業員の接客態度共に高い評価を頂いた。</p> <p>また、備中櫓にて行っている簡易調査でも良好に管理・運営が行われているとの回答を頂いている。来年度からはさらに充実した調査を行い、運営の参考にする。</p> <p>・石垣の雄大さや管理については清掃、整備がよくされているとの評価を頂いた。</p>
----------------	---

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依然としてコロナ禍でありインバウンドは見受けられなかった。</li> <li>・引き続き名城100選など積極的にPRし全国各地からの入園者を誘客する。</li> <li>・「春はつやま」にあわせて春季のイベント実施等による誘客には注力されているが半面、夏以降の誘客では史跡、文化財としての津山城の認知度を高めるしかなく、手すり、スロープの設置や洋式トイレへの完全移行、枕木の設置による段差の緩和など課題は大きい。</li> <li>・「津山さくらまつり」では、令和4年3月26日(土)からの開催とし、3月27日に開花、4月1日には満開となった。宴会・食べ歩き飲み歩きを禁止とし、貸テント、貸七輪、お茶席、足湯などは中止とした。また来場者の安全を図るため、啓発看板の設置、消毒液の設置、マスクの無料配布を引き続き行い感染の拡大に留意し運営を行った。グルメコーナー・物産展においても同様であり、飛沫防止シートを設置した飲食ブースを設け、黙食への協力を呼びかけ、安心して食事を楽しんで頂いた。</li> <li>ステージイベントでは、収容人数の制限を設け、出演者には当日の体調管理、検温、マウスシールドの着用をお願いした。</li> <li>【自主事業の運営について】</li> <li>・2年ぶりの通常開催となった「牛うまっ王選手権」では周辺地域の観光イベントが依然自粛ムードにあったことも影響してか多くの入園者があり、5月にはコロナ前を上回る過去最高の18,973人の入園者を集めました。また、高額化が課題であった販売価格問題では価格に制限を設け対応したが、品質の悪化につながるケースも見られ、次回からは出展者との会議体を設置するなどしてバランスのとれた事業を目指したい。</li> <li>・8月、9月開催の「夏桜津山城ナイトファンタジア」ではグルメイベントなどの他に「体験教室」を開催。8月6日の夏桜ワークショップに加え、20日のLED工作体験、21日のステンシル体験教室を開催し体験型の誘客を図った。</li> <li>・「花火観覧席」はごんごまつりの7月開催にあわせて7月10日の開催となった。3年ぶりの開催であったが大きな混乱はなく、例年通りの実施内容となった。しかし、事前準備においてごんごまつりとの連携が薄く、「花火観覧席」参加者以外の一般客が津山城へ押し寄せる事態があり、来年度は誘導指示看板の設置等で対応したい。</li> <li>・「津山城初日の出」は、初日の出ビューポイントとして定着してきており、約500名のお客様に津山城から見る「初日の出」を楽しんで頂いた。令和4年度は依然としてコロナ禍であったことから、そずり鍋の販売を中止し、ぜんざい、珈琲の販売、甘酒の無料配布を行った。</li> <li>【公園管理業務について】</li> <li>・ソメイヨシノを始めとする桜の管理では、4月の開花に向け、芽摘み作業を年2回実施することで枝先まで栄養分や水分が行き渡るよう管理し、毛虫による葉の食害に対する消毒液の散布、不要枝の剪定、冬季の休眠時には害虫を駆除するため殺菌剤の散布を行うとともに、持続性の高い肥料を施肥し、その後即効性のある肥料を施肥することで、老木でもきれいにたくさん花芽をつけることを目標に管理を行った。安全対策として、枯れ枝の剪定を行い来場者に危害が及ばないよう細心の注意を図った。</li> <li>・中低木管理では、ヒラドツツジ、サツキ、ツゲの剪定や藤棚の剪定等を行い美しい景観を維持できるよう管理を行った。</li> <li>・東側斜面は倒木の恐れがないか確認を行い、草刈や雑木伐採、竹切りを行った。草刈については、住民との話し合いの中で、年間2回の作業に加え、部分的な草刈を追加して行った。</li> <li>・園内のマンホール周辺の土が痩せ、段差が出来ており、つまづく危険性があった為、真砂土を追加し段差をなくし、排水溝の溝蓋が老朽化してる部分を修繕するなど安全確保に努めた。</li> </ul>
<p>(3) 市の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園者数に関しては、コロナでの行動制限が緩和されたこともあり、コロナ禍以前の水準まで回復しつつある。</li> <li>・特に令和5年3月26日から開催した「津山さくらまつり」では、開花時期や天候に恵まれ入園者数、利用料金収入とも増加している。期間中は、宴会や食べ歩きの禁止、貸しテントやお茶席は中止するなど感染症拡大防止に配慮し、来園者が安心して楽しめるよう適切な運営が行われた。</li> <li>・令和5年5月から、コロナ感染症が5類へ引き下げられたことにより、観光の活発化が期待されていることから、引き続き、鶴山公園の魅力を広く発信し、国内観光客のみならずインバウンドへの対応も取り組んでいきたい。</li> </ul>

- ・園内の設備に関して、手すりやスロープの設置については国指定の史跡でもあることから、文化庁と協議しながら対応していく必要がある。またトイレの洋式化については、市として段階的に増設していく方針としている。
- ・自主事業の運営に関しては、年間を通して鶴山公園の魅力向上と集客を目指したイベントが開催され成果を上げている。特に「牛うまっ王選手権」は鶴山公園での恒例イベントとして定着しており集客力も高い。商品の販売価格や品質面で課題があるとのことだが、出展者との協議・調整に努め、引き続き魅力あるイベントへ育てていただきたい。
- ・ごんごまつりの際には花火観覧席を設置し、車椅子の方でも花火を楽しめよう取組は評価できるが、看板等で周知することによって来園者の安全・安心の確保に努めていただきたい。
- ・その他、「津山城初日の出」イベント等についても課題を整理し、内容の充実に取り組んでいただきたい。
- ・令和4年度は観光需要が回復しつつある中での自主事業の推進により、利用料金収入が大幅に増加し、収支は約16,000千円の黒字となった。事業者は、コロナ禍においても入園者が安心安全に鶴山公園を楽しんでいただけるよう、感染対策の徹底や、官民挙げての積極的な観光キャンペーンを通じ、鶴山公園の魅力在市内外に大きく展開できたことが、収益を高めた大きな要因と捉えている。
- ・公園管理については、樹木管理を計画的に実施し美しい景観の維持に努めていることは評価している。特に桜の管理については、適切な害虫防除や施肥、芽摘みや不要枝の剪定など、きめ細やかな作業が実施され、花見シーズンには桜の絨毯が美しく広がっている。
- ・また東側斜面は、竹や雑木が民家に隣接して繁茂していることから、倒木被害等が発生しないよう、引き続き住民と協議しながら作業に当たっていただきたい。
- ・その他、園路や広場、排水溝などの点検に努め、適切な管理に取り組んでいただくことを期待している。
- ・鶴山公園は、本市を代表する観光資源であることから、公園の価値を高める取組に引き続き期待するとともに、四季折々の自主事業や積極的な情報発信に努め、観光誘客に一層励んでいただくことを期待している。